

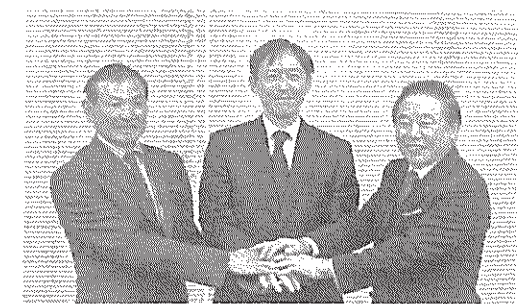
2015年7月1日 鉄鋼新聞掲載

共栄、シマブンコーポ、扶和メタル

鉄スクラップで大型提携

3社で年400万トン 輸送費削減 競争力強化

共栄、シマブンコーポ、扶和メタルの3社は鉄スクラップ事業について業務提携契約を締結した。3社の実績(2014年12月期)を合算した鉄スクラップ扱いは年間約400万トン、売上高は約1600億円、国内鉄スクラップ業界で最大規模の手携グループを形成した。3社が保有する全国の鉄スクラップ集荷・輸送・加工ヤードは37拠点(うち船積み港は



左から握手する黒川友二・扶和メタル社長、木谷謙介・シマブンコーポレーション社長、郡義信・共栄社長

29日に3社社長をはじめ経営陣が集まり、記者会見した。会見で、3社は「顧客満足度の向上」および「コスト競争力の強化」を推進するため、それぞれの経営資源を有効活用するとした。

22カ所)。これらを機し、既存顧客である国動的かつ効果的に利用内メーカーの満足度向上していく。提携をさら

提携3社の社長談話

黒川友二・扶和メタル社長 生き残るためには、体質を強化し、競争力強化が必要だ。提携をともあつて、短期的な損得に動揺せず、長期的な視野に立ち経営している。こうした価値観を共有しているため、前からの信頼関係にあり、また提携もスムーズに進められ、長期の視野も有している。また、この提携で、安定供給と先んずくは既存顧客の満足度を最優先に考える。また、将来のスクラップ余剰に対応できる準備も、業界発展に寄与した

「デジタルデータ活用小委員会」が経済産業省が継続設置 鉄鋼・非鉄共同で 経済産業省は、ビッグデータに代表されるデジタルデータを金属材料産業の競争力強化につなげるため、6月に立ち上げた鉄鋼、非鉄金属業界共同の研究会での検討を継続す

「鉄スクラップの日」特集
「国際鉄リサイクルフォーラム金沢」
4~5面